

令和5年度 事業計画

1 基本方針

現在の日本は、少子高齢化が急速に進み、総人口は減少の一途をたどっています。このことは生産年齢人口の著しい減少とそれに伴う労働力の弱体化に連動し、社会経済活動全般に影響を及ぼしています。一方、高齢者の多くは自分なりの生きがいや社会参加を強く望んでおり、自身のライフスタイルに合った就業や地域社会への係わりを模索しております。

こうした中「生涯現役社会」を実現するためのシルバー人材センターが担う役割はますます大きくなっていますが、企業においては就業確保措置が70歳まで延長されたことで、センターへの入会希望者の減少が危惧されております。また高齢者のライフスタイルや、働く価値観も多様化しており、従来にない仕事や働き方を含めた幅広いメニューを用意するなど、多様な就業機会の提供に努めなければなりません。センター事業を安定的に継続していくには、「会員増」と「就業機会拡大」を図ることが必要不可欠となります。

令和5年度は「会員拡大」「就業機会の拡大」を重要課題として、未就業者対策や会員等へのきめ細かな施策の実施、女性会員や高齢者会員等向けの各種取組を充実するなど、ポストコロナ社会も見据え、創意工夫を凝らした会員目線に立った事業展開を図ってまいります。

今後とも関係機関のご支援ご協力をいただきながら、更なるセンターの発展と地域に根ざした魅力あるセンターづくりのために会員、役職員一丸となって取り組んでまいります。

2 事業実施計画

(1) 就業機会の確保と拡大

ア 地域のニーズを踏まえながら、センターの柱である請負事業の更なる拡大を図るとともに、幅広い分野における派遣事業の拡大に努めます。

イ 会員のニーズに応じた受注の拡大や、発注者ニーズに対応することにより、更なる就業機会の確保、提供を行う。

ウ 会員の希望職種や就業履歴を勘案して、公平・公正な就業機会の提供と仕事の分かち合いの推進を図る。

エ 関係行政機関、事業所及び一般家庭等に対する就業機会の拡大に努める。

(2) 会員数の拡大

健康で働く意欲のある高齢者に対する会員の入会について、関係機関と連携しながら促進する。

ア 毎月開催する入会説明会において、就業相談を行い入会の促進を図る。

イ ホームページ、市広報紙及び公共機関等を活用し、入会促進に向けた啓発活動を行う。

ウ 各種催事に参加し、入会へのPR活動を実施する。

(3) 労働者派遣事業の推進

地域の多様なニーズに応えるとともに会員の専門的な知識と経験を生かすため、労働者派遣事業を推進する。

(4) 職業紹介事業の実施

臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者に対して、就業機会を提供する有料職業紹介事業を実施する。

(5) 普及啓発活動の推進

シルバー人材センターの理念、活動を地域住民並びに関係者に広く周知し、シルバー事業への理解とイメージアップを図る。

ア ホームページの充実を図り、迅速な情報の発信・提供に努める。

イ 会員のロコミの活用、市広報紙等への掲載を依頼する。

ウ 広報委員会による広報活動の推進や会報誌「シルバーたはら」の内容の充実を図る。

(6) 講習会の実施

生きがいや社会参加及び就業を希望する高齢者を対象に、新たな知識、技術及び技能等を習得するための講習会を開催する。

ア 県シ連と共催し高齢者活躍人材確保育成事業の実施を検討する。

(7) 安全・適正就業の推進

「健康と安全・適正就業」を基本に、会員の健康維持と安全の確保を図りながら、「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を遵守して安全・適正就業の周知徹底を図る。

ア 安全・適正就業を推進するため、安全・適正就業委員会を開催する。

イ 事故状況の分析及び就業現場の安全パトロールを実施する。

ウ 「適正就業ガイドライン」の周知徹底を図る。

エ 健康状況の確認と健康診断受診を奨励する。

オ 夏期安全就業強化月間を実施するなど、センター全体で安全就業対策に取り組む。

(8) 調査・研究活動の実施

関係機関と連携し地域ニーズ・課題等の情報収集を行うとともに、事業拡大に向けた調査・研究を行う。

ア 関係機関との連携及び情報収集を行う。

イ 他センターとの情報交換及び先進事例の調査研究を行う。

(9) 相談・情報提供の推進

高齢者の就業ニーズに係る相談を行うとともに、就業等の情報提供を行い、社会参加の推進を図る。

ア 未就業会員及び新規入会会員への就業相談を実施する。

イ 関係機関と連携し、就業に関する相談を実施する。

(10) 社会参加活動の推進

会員のボランティア活動等により、社会参加活動の推進を図る。

ア 剪定・清掃等ボランティア活動を実施する。

イ 地域のニーズに対応したボランティア活動の推進を行う。

(11) 東三河市町村シルバー人材センターとの連携強化

各センターとの連携強化を図り、相互発展を目指す。

(12) 組織運営の充実と財政基盤の強化

ア 会員、役員、事務局が一体となった活力ある事業運営を図る。

イ 女性委員会を中心とした女性会員の入会促進や就業開拓・拡大を図る。

ウ 受注業務を円滑・効率的に推進するため、会員主体の自主的運営体制の確立を図る。

エ 会員の事業参画を推進し、イベントの企画などへの会員の積極的な参画を推進する。